### 学生サポートセンター活動

- 2010年 名古屋学院大学クリスマス礼拝
- 2010年度 学生サポートセンター活動について
- 2009年 名古屋学院大学クリスマス礼拝
- 2009年度 学生支援GP講演会「人と人をつなぐ、ことば」
- 2008年度 学生支援GPによる講演会ブックレット (PDF)
- 2007年度 学生支援GPによる講演会ブックレット (PDF)
学生サポートセンター活動

学生サポートセンターでは、学生と大学をつなぐ窓口としてさまざまな学生支援活動を行っています。キリスト教徒の主の下における学生サポートセンターの責任者である福井哲司先生、同センターの役割や活動内容、活動の目的などを、実際に活動に参加した学生の感想などを述べました。

第1回 教職員インタビュー キリスト教センター 主事 福井哲司さん（2010年12月29日UP）

第2回 教職員インタビュー 外国語部添英生部2年トーンチャイムサークル主幹 海口 喜久さん（2010年12月29日UP）

第3回 教職員インタビュー 外国語部添英生部2年 古田つぐみさん（2011年1月5日UP）

学生サポートセンターについて教えてください。

学生サポートセンターは、キリスト教センターが開催している講座です。学生と大学をつなぐ窓口としての活動を展開しています。学生サポートセンターには、年間200名~300名の学生が参加しています。参加者の活動は、COS（キャリア・オビジェクション・システム）を通じたトーンチャイム（音）演出やテーマを含む、様々な活動が行われています。参加者は、大学生活をより充実させるために、学生サポートセンターの活動に参加しています。

トーンチャイムサークルの活動の目的は何ですか。

トーンチャイムサークルの活動の目的は、学生同士の交流を促進することです。トーンチャイムサークルは、学生が演奏を行うことで、音楽を通じてコミュニケーションを深めることができる活動です。また、参加者は、音楽を通してコミュニケーションを深めることができ、友人との交流を楽しむことができます。トーンチャイムサークルは、音楽を通じて、大学生活をより充実させる活動として行われています。

クリスマス譜演会に向かっての準備をお聞かせください。

クリスマス譜演会の準備は、学生サポートセンターの活動です。学生サポートセンターの活動は、大学生活をより充実させるために、様々な活動が行われています。参加者は、音楽を通じて、大学生活をより充実させる活動として行われています。
2009年名古屋学院大学クリスマス礼拝

日付: 2009年

名古屋学院大学は、愛知県名古屋市に位置する私立大学です。本稿では、2009年名古屋学院大学クリスマス礼拝について記述します。

礼拝の詳細

クリスマス礼拝は、12月24日に行われます。礼拝は、大学の礼拝堂で行われ、会場には約1000人の学生、教職員、家族が参加しています。

クリスマスの意義

クリスマスは、イエス・キリストの誕生を祝う日で、世界中の基督教徒が集まり、イエスの愛と救いを讃えています。

大学のクリスマス活動

名古屋学院大学では、クリスマスの時期には様々な活動を行っています。クリスマスプレゼントの贈呈式や、クリスマスツリーの飾り付けなどが行われます。

一般公開

クリスマス礼拝は、一般公開される機会が設けてあり、公募により参加者を募集しています。参加申し込みは大学のウェブサイトで行います。

参考文献

1. 名古屋学院大学公報
2. 名古屋学院大学クリスマス活動報告書

Copyright 2009 NAOKO GAKUIN UNIVERSITY All Rights Reserved.
名古屋女子大学 2010年 クリスマス礼拝

2010年12月21日

「クリスマス礼拝」は、名古屋女子大学が毎年12月21日に開催するクリスマスリスペクトの礼拝です。この日は、大学の各部会がクリスマスの意味を伝え、参加者の心に光を届けるために開催されます。episode10では、礼拝の準備と開催の詳細を紹介します。

参加者へのメッセージ

この日は、新しい年の始まりの1日です。名古屋女子大学の皆さんが、新しい年を始めるたびに、心を豊かにし、未来を大切にし、皆さんが幸福な生活を送れるように祈っています。クリスマスリスペクトは、この願いを実現するために開催されるものです。

クリスマスリスペクトの意味

クリスマスリスペクトは、大切な人々との関係を大切にし、心を豊かにし、幸福な生活を送れるように祈ることです。名古屋女子大学の皆さんが、この日を大切にし、未来を大切にし、幸福な生活を送れるように祈っています。